



九国の扉

キュウトビ

vol.19

2021

学校法人九州国際大学
学園広報誌



特集

「九国」のキラ星を探せ！



◎キュウヒト探訪 vol.3

【九州国際大学 法学部長 姜 信一】

対談

【九州国際大学 現代ビジネス学部長 村上 真理】

◎キャンパスレポート

◎学校法人九州国際大学 令和2年度決算報告

特集

「九国」のキラ星を探せ!

小さくてもキラリと輝きを放つキミ。
やがて未来の一等星に!

九州国際大学
法学部 法律学科3年生
新田 隼土さん



★ 新入生のサポート、留学、生徒会活動…。

★ 「九国」で何かに打ち込み、高みをめざし、

★ 星のように輝きを放つ

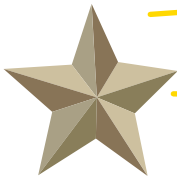
★ 学生、生徒さんをクローズアップ!

九州国際大学
付属中学校3年生
坂口 加奈さん



九州国際大学
付属高校2年生
佐藤 侑真さん





彼の、彼女の、「ここがピカイチ！」

日頃、身近で見守っていらっしゃる先生たちに、
「九国」のキラ星たちを紹介していただきました。

【課題解決力】



【行動力】



【気くばり力】



ひときわ光る、柔らかなリーダーシップの持ち主

否定的な言葉を使わない、いつも笑顔で対応する。決してぐいぐい引っ張るタイプではないけれど、新田さんがいると緊張がほどけ、いつのまにかみんながまとまっていく。まさにゼミ生と教員の間を取り持つ、バランスーとしての能力にたけている人物です。今後もSAの活動を通して、社会人にも不可欠な素晴らしい能力にますます磨きをかけてほしいと思っています。

※SA：スチューデント・アシスタント。新入生に早く大学生活に慣れてもらえるよう、1年生の授業やゼミ活動のサポートなど教員の補助を務める学生。

University



九州国際大学
法学部 法律学科3年生
新田 隼土さん

法学部 法律学科
阿部 理香 助教

【積極性】



【決断力】



【行動力】



留学で輝きを増して帰ってくる日が心待ちです！

「留学」という夢の実現のために親元を離れ、一人暮らしをしながら通学する佐藤さん。さらに、帰国後は2年生に戻り、神戸大学受験をめざすという目標意識の高さは脱帽ものです。あえて課題を挙げるとしたら、一歩前に入る積極性を身につけること。リーダーシップ力も充分ある生徒さんです。きっと留学を経験することで、ひと回りもふた回りも大きく、輝きを増して帰ってくることでしょ。

High School



九州国際大学
付属高校2年生
佐藤 侑真さん

2年S2組担任
西川 友和 先生

【協調性】



【やりぬく力】



【責任感】



芯の強さとやりぬく力は、群を抜いています！

穏やかでありながらも芯が強く、コツコツと対話を重ねながら生徒会をまとめてくれている坂口さん。実は私も本校の1期生で生徒会に所属していましたが、彼女の学校を盛り上げたいという気持ちと最後までやり抜く力は当時の私とは比べ物にならないほど！だから、私から口出しすることはあまりありません。たとえ失敗しても失敗から学び、やり直すことができる。そういう強さを彼女は持っています。

Junior High School



九州国際大学
付属中学校3年生
坂口 加奈さん

3年A組担任
山田 峻太郎 先生



小さなきっかけで、人は大きく変わる。
SA(スチューデント・アシスタント)を通して
その思いを伝えたい。

法学部 法律学科3年生
新田 隼土さん

高校時代は生徒会長を務めるなど、もともと世話好きで、困っている人を放っておけないタイプです。大学でも誰かの役に立ちたくて、1年生のゼミを補佐するSAの仕事に2年次から携わっています。

ところが、昨年はコロナ禍により、なかなか交流の機会が得られなかったこともあり、対面授業が始まってからもゼミ生の表情は硬く、どこかよそよそしい空気が流れていました。そこで、私は1つ上の先輩として実感してきたことや先生とのエピソードなど、ゼミ生が共感できるような話題を探し、話しかけるように心がけました。その結果、緊張がほどけて話が盛り上がり、ゼミの雰囲気グッと明るいものに変わっていったのです。以来、どんな状況でもポジティブに行動することで、必ず乗り越えられると考えるようになりました。

実は、中学時代まではどちらかというと消極的な性格でした。そんな私が変わったのは、先生や友人たちが「やってみようよ」「一緒にやろうよ」といつも声をかけてくれ、手を差し伸べてくれたから。ちょっとしたきっかけで、人は大きく変わることができる。周りの人たちから受けた恩を、今度は私が返したいという思いを胸に、SAの仕事に取り組んでいます。

2学部3学科10コース。 夢を目標に変えるための新しい一歩が、ここから始まる。

あらゆる職業に求められる
論理的思考力と課題解決力を育む。

グローバル＆ローカルの視点から
社会をナビゲートできる人材を養う。

法学部

法律学科

リスクマネジメントコース/キャリアコース

法律を学ぶことは法の背景と、その考え方を知ること。それは論理的思考力や課題解決力、協働力を養うことにつながり、その能力こそ今や公務員や会社員をはじめ、あらゆる職業で求められているのです。法学部法律学科では、地域住民や行政と連携したゼミ学習や学部内に設けた法人組織の運営など、実践的な学びを通して社会で役立つスキルを身につけます。これからの時代は学部を問わず、国際的視野が不可欠。法学部生も海外で学べるチャンスが広がるよう、留学制度の整備を進めています。

現代ビジネス学部

地域経済学科

経済コース/経営コース/地域づくりコース/
観光ビジネスコース/スポーツマネジメントコース

国際社会学科 英語コース/ハングルコース/国際コース

地域経済学科と国際社会学科の2つの学科を擁する現代ビジネス学部。地域経済学科では、経済学、経営学をベースに地域が抱える課題を多角的に分析し、その解決に導く能力を養成します。一方の国際社会学科では在学中の海外実習が必修となっており、語学力や国際教養、異文化理解力などを実践的に身につける独自のカリキュラムを構築しています。本学部が育てるのは、グローバルとローカルの視点から社会をナビゲートできる人材。地域で、世界で活躍できる次代のビジネスパーソンです。

「4年間で必ず成長する。」多岐にわたるきめ細かなサポート。

学びの Point 1

1年生から始まる、実践教育の柱。

伝統のゼミ活動



先生と少人数の学生が対話を重ねながら主体的に学ぶゼミ学習。1年次から全員が入門セミナーでスタディスキルを身につけます。地域の人々や企業と連携しながらアクティブに学ぶことで、協働力や地域の役に立ちたいという「志」も育みます。

学びの Point 2

使える語学力、国際感覚を養う。

留学・海外実習



多彩な留学・国際交流プランのほかに外国の大学、教員とオンラインで結び、リアルな外国語と現地事情を学ぶ機会を提供。英語音声学専門家による個人指導では留学ながらの学習が受けられ、コミュニケーション力の向上に役立っています。

学びの Point 3

入学前、入学後も不安にさせない。

入学前&初年次教育



学校推薦型選抜・総合型選抜合格者を対象に入学前教育を行い、入学後はゼミの担当教員による担任制度、基礎教育センターでの学修サポートや資格サポートにいたるまで、学びの伴走者として手厚く、根気強くアプローチしていきます。

地元九州の
企業に強い！

充実の就活サポート

地域とともに歩んできた九国大。キャリア支援室では地元九州とのパイプが強く、さらに教職員との密な情報交換により、学生一人ひとりにきめ細やかな就職アドバイスをを行っているので、学生と企業のベストマッチングを実現します。

人物も重視！

学術奨学金

授業料
100%
(採用予定人数7名)
免除型
[年間]



授業料
50%
(採用予定人数16名)
免除型
[年間]

入学試験の成績のみだけでなく、志のある人物重視の選抜を行っています。また、在学中は勉学に励むだけでなく、大学行事(オープンキャンパス等)の活動に参加していただくことが条件となります。

入試区分 一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

選考基準 入学試験の成績並びにエントリーシートによる総合評価

“ ”
わたしの
キラリ!

思いきり!



留学したいけれど、
勉強もおろそかにしたくない。
そんな私が決めた道。

付属高校2年生
佐藤 侑真さん
(このえ緑陽中出身)

留学に興味を持ったのは、中学の時に学校の代表として経験した台湾への短期留学がきっかけです。だから、高校受験の時には自分でいろいろ調べて、留学制度が整っている付属高校を受験、入学しました。今は、念願だった1年間のカナダ留学が決まり、準備を進めているところです。留学先では語学の勉強はもちろん、以前から興味のある経済学を学べるので、今からとても楽しみにしています。

付属高校では長期留学でも3年間で卒業できますが、どうしても勉強にブランクが生じてしまいません。勉強もおろそかにしたくないので休学し、帰国後は2年生に戻って大学受験をめざすことにしました。コロナ禍での留学や同級生と一緒に卒業できないことなど、不安がないわけではありません。けれど、新しい世界を体験できる楽しみの方がずっと大きい。生徒の主体性を尊重してくれる、自由度の高い高校であることも決断の支えになりました。

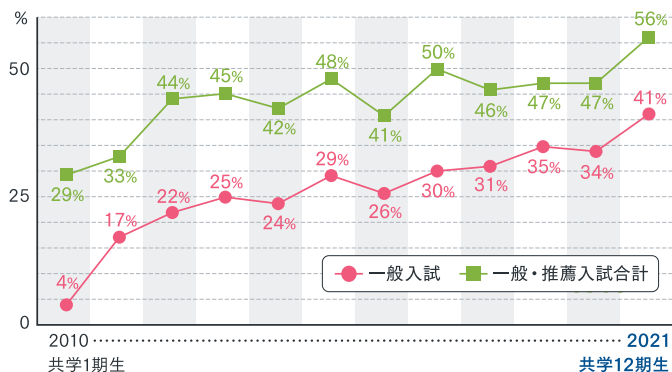
「思いきり!」という言葉は、中学時代、ソフトボール部の先輩が消極的なプレイをする私の帽子に書いてくれた励ましのエール。この言葉を支えに、一歩前へ。1年間、思いきり学んで、思いきり遊んで、思いきり楽しめます!

選ばれるには、理由がある。 福岡県内最多の受験者数を 12年連続で更新中！

第一志望は「九国」！ 北九州の私立高校のイメージを変える。

本校は、2010年の男女共学化以降、福岡県内で12年連続最多の受験者数を集めています。さらに、滑り止めでなく、第一志望の高校として入学する生徒が半数を超え、北九州地域におけるこれまでの私立高校のイメージを塗り替えてきました。このことは、「新しい学校を創る」という私たちのコンセプトに共感していただいたことの表れだと感じています。今後も、学校という「器」を変えるだけでなく、生徒たちにとって意義のあることであれば、前例にとらわれることなく「中身」を改革していく。それこそが、私たち付属高校の目標なのです。

■九国付属高校 第一志望入学率



2021年度 第一希望入学者数

234名(一般入試) + 85名(推薦入試) = 319名

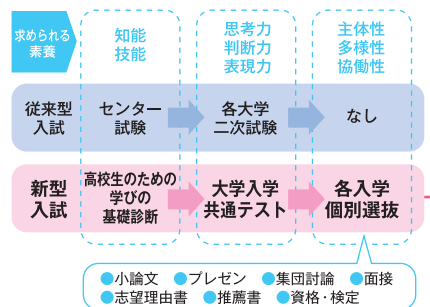
滑り止めでない私立高校へ躍進中！

進路に対応した5クラス編成

「難関」「S特進」「特進」「進学」「トップアスリート」の5クラス編成。進級時には、成績および本人の希望に応じてクラス替えを行っています。

大学入学共通テスト対策

今年度から導入された「大学入学共通テスト」対策として、①「読解力」と「表現力」の育成に的を絞った組織的な授業改善②「自己マネジメント」能力を身につけさせる授業展開。この2つを柱に生徒の自走をうながす教育を進めています。



九国付の新型入試対策

知能・技能

授業
課外授業
個別指導
自習
スペースの解放

思考力・判断力・表現力

- 習熟度別のクラス編成
- 英検、漢検取得の推進
- 学習会、学習合宿

主体性・多様性・協働性

- ITC教育の活用
- 実践的な英語教育
- グローバル教育プログラム

大学のその先を見据えた キャリア教育と進路サポート



■ 関東・関西の大学視察

1年次に関東・関西地域の大学視察へ。ハイレベルな大学を自分の目で確かめることで、生徒の向上心と受験意識を高めます。

■ サタデープログラム

本校の教員が専門分野や教材研究の成果を発表します。生徒は受験勉強だけでなく、学問の面白さを肌で感じられる企画です。

■ 人体解剖見学

医療分野の進学をめざす生徒に向け、人体解剖の見学会を行っています。人体の構造だけでなく、生命の尊さを学ぶ貴重な機会です。



■ 学習会・学習合宿

春期・夏期休暇中、県内外の施設で学習会や学習合宿を行い、友人たちと切磋琢磨。学力向上へのモチベーションを高めます。

■ 大学出前授業

九州大学や北九州市立大学、山口大学などの先生を招いた出前授業で大学の研究内容を先取り。年間20講座以上開講しています。

未来を創る国際人を育む グローバル教育と海外留学

グローバル教育プログラム

ネイティブスピーカーによる英会話授業や定期考査でのオールリスニングテスト、また、姉妹校・友好校との国際交流や英語集中特訓プログラムなどにより、英語の4技能をバランスよく養成。国際社会においてリーダーシップのとれる人材を養成します。



海外留学プログラム

1年間、学びを深めながらも3年で卒業できる長期留学と、夏に韓国(2泊3日)、春にオーストラリア(2週間)で海外研修を行う短期留学(希望者のみ)があります。世界に飛び出し、異なる文化や価値観に触れることは、大きな飛躍と成長の糧になります。



地域最高水準のICTを活用

全館Wi-Fiを完備。生徒が1人1台ずつタブレット型PCを所有し、全教室にインタラクティブプロジェクターを設置しています。地域トップレベルのオンライン授業も好評です。



わたしの
キラリ!

サボリそうになった時未来の運命が
変わってしまうかもしれないから
頑張るしかないんだ



未知の自分に出会うために、
高いハードルに挑戦する。
それが生徒会でした。

九州国際大学
付属中学校3年生
坂口 加奈さん

生徒会長と言えば統率力があり、トークも上手な人というイメージがありますが、私はむしろその逆。人見知りが強く、人前で話すことは得意ではありませんでした。それなのに生徒会長をめざしたのは、生徒会長になったら否が応でも人前に出なければならぬので引つ込み思案を克服できると思ったからです。まだ十分とは言えないけれど、1年前に比べるとずいぶんしゃべれるようになりました。

生徒会活動ではなるべくみんなの意見に耳を傾けるよう心がけています。今年の4月に行われた1年生と2・3年生の対面式では、意見を出し合ってまとめあげた音楽祭を紹介する劇を披露。劇中のセリフで「それな」と私が何度も飛ばしたギャグが大受けし、その後、しばらくは「それな」というあだ名で呼ばれていました。乗せられたら結構乗るタイプなんだと未知の自分を発見する経験にもなりました。

将来の夢は、難病を治せるような医薬品の研究員になること。まだ道は遠く、時には勉強をサボりたくなることもあります。そんな時に口ずさむのが黒板に書いた「霜降り明星」の粗品さんがつくった歌の一節です。自然とやる気が湧いてくる、私にとって魔法のフレーズです。

人生は未見の我の発見の旅。 私立ならではの先進的でユニークな教育プログラム。

自分の限界を超えていく。合言葉は「K点」突破！

K点とは、スキージャンプ競技で、これ以上跳ぶと危険である「極限点」を意味します。しかし、実際には競技会の場合、これを越えないと入賞は難しいと言われていています。私たちの心の中にもK点があります。目には見えない自分の限界点ですが、それは思い込みにすぎず、突破することは可能なのです。本校では、生徒たちが何かを始める時の消極性をK点として、これを突破し、「未見の我」を発見できるように指導しています。K点突破を合言葉に、自分の限界を超えていく。生徒のやる気、積極性を引き出す教育に力を注いでいます。



独自の教育設計でより高い進路の実現へ

■ 高校自由選択制+高校受験

進学にあたっては高校自由選択制をとっています。高校入試は学力形成の好機。高校受験を通して、総合的な力を身につけさせるようにしています。

■ 三冠王+準2Wクリア

すべての生徒が、学習到達度の目安となる英検・漢検・数検の3級合格をめざします(三冠王)。さらに、準2級、2級以上の合格への挑戦もサポートします。

■ 1年次2人担任制

中学生活にすぐに溶け込めるよう、1年次は男女2人の担任を置き、きめ細やかに指導します。また複数教員による授業で密に話し合いながら教科指導を進めています。

基礎から応用へ充実の学習プログラム

■ PET&ACT

主要5教科の100問暗記テストPET(パーフェクト・トライ)を各学期末に。定期考査では論述形式のテストACT(アクティブ・トライ)を実施。基礎と応用、総合的な学力の向上をめざします。

■ 速習クラス

成績によるホームルームは編成していませんが、個人差の大きい英語、数学では速習クラスを設置。よりハイレベルの学力を養成することで、難関私立受験対策にも対応しています。

■ 家庭学習の定着=KTN

漢字の書き取りや計算ドリル、英単語の暗記など学習レベルに合わせた目標を設定。K点突破ノート(KTN)を使って家庭学習に取り組み、確実にクリアしていきながら「自学力」を鍛えます。

先進的な学習環境が学力向上をサポート！

■ ICタブレット

教員は黒板と手元のICタブレットを併用しながら効率よく授業を進行。重要な箇所や興味を惹く内容を大きく映し出すことで生徒の学習効果を高めます。

■ プロジェクター型電子黒板

大きく映し出せるので学習内容がより分かりやすく。また、板書の時間が短縮できるため生徒たちの考える時間が増え、集中して学習に取り組むことができます。

■ ICTルーム(図書館)

生徒用ノートパソコンを80台完備し、ICTルームとしても活用できる図書館。机はレイアウトを自由に変えられるので、グループ学習にも最適です。



友情と生きる力を育てる こころcolorの体験学習

本校では知・徳・体の調和のとれた生徒を育成するために、「心から」「自分の色」で取り組む「こころcolorの体験学習」を行っています。宿泊研修や北九ウオークなど豊富な体験学習に参加することで、友情とたくましさ、思いやりにあふれる生きる力を育てます。



キュウヒト探訪

Interview

VOL
3

学んだ理論を現場で実践する。
その繰り返しが、夢を目標に変えていく。

九州国際大学では実践教育に力を入れています。なかでも地域と連携しながら行っているゼミ活動は、地域の方々はもちろん、行政機関からも高い評価を得ています。今回は、法学部の姜学部長と現代ビジネス学部の村上学部長に、自ら率先して取り組んでおられるゼミ活動と、本学の学びの魅力についてうかがいました。

九州国際大学
現代ビジネス学部長
村上真理

九州国際大学
法学部長
姜信一



地域の小学校や飲食店を舞台に、実践的なゼミ活動を展開。

現在、学部長が関わっておられるゼミ活動について教えてください。

姜 地域の小学校を訪れ、北九州市や警察とともに子どもたちに防犯教育を行う「地域安全マップ活動」に取り組んでいます。日本の犯罪率は減少傾向にあるもの子どもが絡む犯罪は後を絶ちません。本学部の授業のひとつである「リスクマネジメント各論1」では犯罪予防にフォーカスを当てた犯罪機会論を学びますが、その理論を実践する場にもなっています。開始以来12年も続けている活動が評価され、今年7月、北九州市から感謝状をいただきました。北九州市は他の地域に比べ、地域安全マップ活動に力を入れているのにもかかわらず、正式なマニュアルがありませんでした。そこで、これまでの私たちの活動をもとにマニュアルをつくり、市に提供したことも評価されたのではないのでしょうか。

村上 確かに、そのような側面はあってもいいですね。私のゼミではいくつかのチームに分かれ、個別に活動を行っており、そのひとつが「子ども食堂チーム」です。子ども食堂を開設している飲食店が南小倉にあるのですが、そこへゼミ生たちが行き、運営をサポートしています。子ども食堂と言えば、家庭環境に恵まれない子どもを対象とした福祉目的のものが一般的です。しかし、もともと私のゼミには「地産地消」というテーマがあり、ここの目的は、まさに地産地消をベースにした「食育」にあります。そのため北九州産の食材を使って正しい食の在り方を子どもたちと一緒に考えることが活動の中心です。ゼミ生たちは食材の特徴や食べ方、栄養などを紹介したフリップボードを作成。紙芝居風に仕立て、子どもたちが楽しみながら理解できるよう工夫しています。

また、昨年の2月には韓国・釜山の青龍小学校まで出向き、現地の子どもたちへの「地域安全マップ活動」を行いました。さらに、防犯活動に興味を持つ一般の方々に向けた「地域防犯リーダー養成講座」を実施するなど様々な活動に取り組んでいます。コロナ禍により現在は中止している活動もあります。オンライン講座やリモート勉強会などインターネットを活用することで、活動の領域が広がった側面もあるかと思えます。

なかには、ほうれん草は食べたことがあるけれど、調理前のほうれん草は見たことがないという子どももいます。野菜本来の色や形、調理の仕方で見えた目が変わることなど細かい部分までレクチャーするよう心がけています。ありがたいことに、これまでの取り組みが評価され、2020年度には農林水産省が主催する「第5回食育活動表彰」で消費・安全局長賞を受賞しました。

現場での失敗や「困った経験」が学生を大きく成長させる。

ゼミ活動を通して、学生たちはどのような力に成長していますか？

姜 大きく分けると2つあります。「地域安全マップ活動」では企画から準備、実行まですべて学生の手で行うことが原則であり、チームで協力しながら取り組むことで協働力やリーダーシップなどが育まれます。もうひとつは、そういった活動をくり返すうちに学生たちは自らを振り返ることができるようになります。うまくいかなかった点や準備不足だった点など、結果とじっくり向き合い、次回はこういうことをやってみよう、ここを改善した方がいいといった振り返りが自然とできるようになっていきます。まさに「課題解決能力」の獲得という、法学部が掲げる教育目標を達成する活動となっています。

また、私のゼミでは警察官や消防士など公務員をめざす学生が多いのですが、在学中にゼミで地域の防犯活動に取り組んだことは面接での強力なアピール材料となっているようです。

村上 そうですね。うちのゼミも現場で学ぶことが非常に多く、子ども食堂のフィールドワークで身につく

力は、ズバリ「現場力」です。現場に行くとは想定外の様々なことに遭遇します。子どもたちから見ると大学生は頼りがいがあり、時には宿題を教えてほしいと頼まれることもあるでしょう。一方、お迎えに来た保護者の方には子どもの様子を報告したり、質問に答えたりと大人への対応も求められます。しかし、そのような経験を重ねるうちに、子ども食堂にどんな意味があり、食育がなぜ必要なのか、ということも肌で理解できるようになって、やる気や責任感も醸成されていきます。

はじめは手探りの状態で失敗することも多いかもしれませんが、自分の頭で考え、自分の手と足を使って現状を切り抜けていく力は、社会人にとって不可欠です。ですから私は現場では、あえて学生たちにどうしていいのかわからない、困った経験をしてほしいと考えています。



オンラインの活用や新発想で広がっていく活動の領域。

**ゼミ活動の今後の取り組みについて
お聞かせください。**

姜 「地域防犯リーダー養成講座」など、一般の方々に向けた防犯活動をさらに強化していく予定です。私たちのゼミでは地域の住民と大学が一緒に地域を守っていく「コミュニティ・ポリシング」をめざしており、そのためには、防犯の知識と手法を備えた地域の人材育成が欠かせません。今後福岡県や北九州市と連携し、オンラインなども積極的に活用しながら、防犯教育活動を広く地域へと発信していきたいと思っています。



村上 私のゼミでも発信方法を含め、アフターコロナにおける子ども食堂の在り方を追求していきたいと考えています。どんなに感染リスク対策を講じて、子ども食堂は至近距離で食卓を囲む現場なので、残念ながら現在は閉店しています。そこで、まだ構想段階ですが、食育出張サービスを検討しています。フリックボードを使う方法は踏襲しながら、呼ばれたらどこへでも出かけていくスタイルの子ども食堂で、スキームづくりに取り組んでいるところです。

実践教育をあと押しする、小まわりのきく大学。



本学の学びの魅力とは何でしょうか？

姜 やはり一番のポイントは実践教育です。法学部というと座学のイメージが強いかもしれませんが、本学部では様々な実習や学外活動に取り組めるプログラムを豊富に用意しています。他大学に比べ、授業で学んだ理論を現場で実践する場が格段に多いのが本学部の特長です。できるだけ多くの学生が地域と連携しながら地域貢献できるよう、教員たちも全面的にバックアップしており、今後もしもそういった実践的なプログラムを拡大していきたいと考えています。

村上 現代ビジネス学部には地域経済学科と国際社会学科があり、グローバルな視点を持ちつつ、ローカ



ルな立場で行動できる人材の育成が教育目標です。現場に出かけ、あるいは海外の異文化の只中に飛び込み、「自分の目で見て考え、疑問を解消すること」を最も貴重な体験と位置づけています。

また、広大なキャンパスの大学であれば、在学中に一度も行ったことがない場所があるかもしれませんが、本学はいい意味で小さな大学です。すべてが手の届く範囲にある一方、何かやろうと思ったら必然的に外に出ていくことになり、そのような背景も実践教育をあと押ししています。4年間、学生たちには大学のすべてを活用し、様々な経験をjして、大いに成長してほしいと願っています。

University

学んでいる「英語音声学」を
地域で実践、ブラッシュアップ!

＜宮武ゼミ＞

宮武ゼミでは、英語の発音を改善することで即戦力として使える英語を修得し、英語のコミュニケーターとなることを志しています。オンライン中のゼミでは世界5カ国の大学の先生たちの授業を受けることができ、留学の雰囲気を感じました。また、コロナ禍でもできるイベントを模索し、入学式当日、新入生に大学周辺や北九州の桜の名所について紹介する「桜祭り」のYouTube生配信をしました。近隣の小学校では月に1回、小学2年生に英語の発音を教える「発音ワークショップ」も行っています。専門分野以外にも色々なイベントを開催することで、ゼミ生同志の絆はもちろん、地域と大学の繋がりが深まり、大学とその近隣が自分たちの第二の故郷になるように願ってがんばっています。(ゼミ・リーダー 国際社会学科3年 佐々木花菜)



読書の魅力を若者に伝える

フリーペーパー
づくりに挑戦!



プラン&プラクティスは「地域社会の課題解決」をテーマとする授業(担当教員:川脇慎也)です。授業では学生自身が実現する目標を定め、独自のプロジェクトを自ら企画して実践します。2020年度は「若者の活字離れ」という問題に焦点を絞り、読書を生活習慣の一部として取り入れてもらうために、北九州市内の図書館や書店の魅力と、お薦めの書籍について取材しました。コロナ禍での取材は困難でしたが、学生にとっては、遠隔授業で身に付けたスキルを応用する良い機会にもなりました。書籍に馴染みのない若者に向けて、受講生がまとめたフリーペーパーは、その内容だけでなく、デザインから紙質まで、細部にわたってこだわりの詰まった力作です。(担当教員:川脇慎也)

昔話や童話の登場人物が出廷!

ホンモノさながらの
模擬裁判



専門演習A・B(主として3年生)の鈴木ゼミでは模擬裁判を実施しています。ホンモノさながらの法廷教室で起訴状をはじめ、すべて自分たちで台本をつくり、刑事訴訟法はもちろん、刑法の解釈論など裁判手続きを順に追いながら学びます。夏のオープンキャンパスでの披露も予定していることから、親しみが持てるよう昔話や童話を題材に展開しています。過去には「3匹のこぶた」、「白雪姫」などを刑事事件にしてみました。コロナ禍により、しばらく実施ができていませんが、例年、台本作成に着手する前に福岡地裁小倉支部で本物の刑事裁判を傍聴し、イメージづくりからスタートします。さらに秋学期には刑務所見学も行い、生きた刑事法学の学びに取り組んでいます。



TOPICS

コロナ禍でもがんばる
就活生にエール!

Zoomを使った就活サポートを
いち早く導入!

福岡県で最初にZoomによるオンライン合同会社説明会や業界研究セミナー、保護者を対象とした就職オンライン相談会を実施。1年次生も視聴できる「履歴書の書き方講座 (YouTube)」も配信しています。



履歴書の書き方講座(動画)

Web面接対応ブース「CALi-V」(キャリボ)の導入

Web面接対応型個人ブース「CALi-V」を保護者後援会より寄贈していただき、キャリア支援室に設置しました。各企業は、オンライン説明会やWeb面接を進めており、就職活動にインターネットを活用することは今や当然と言えます。「CALi-V」の設置により、就活生に快適なオンラインの環境を提供することが可能となりました。



※「CAL (Computer Assisted Instruction: コンピュータ支援教育)」、「i (individual: 個別)」、そして「V (勝利)」。

High School

もっと知りたい！
学びの原点に立ち返る
サタデープログラム



令和2年度より、生徒の学習意欲を向上させることを目標に、新たな学習プログラム「サタデープログラム」を実施しています。生徒の主体性を育てるために、部門Ⅰは生徒の学問に対する興味・関心を高める講義、部門Ⅱは学習内容の定着度を上げる取り組みや入試対策を行っています。講座の内容に興味を持った生徒を対象に、学校全体や学年、コース全体などの大きな単位で受講者を募っています。受講した生徒の満足度は高く、「自分の興味と高校の授業がつながり、楽しく学べて学力向上につながる。」と好評です。こうした活動を通して、生徒の学びに向かう力を育むことになればと思っています。



TOPICS

九国インスタグラムがスタート！

2020年11月21日より、公式Instagram「九国大ふぞくん」(#959kiuh)がスタート！九国ブログに載せきれなかった写真や動画を不定期で配信しています。フォロー待ってます！

LINE「ふぞくん」スタンプが好評です！

付属高校でおなじみのキャラクター「ふぞくん」がLINEスタンプに登場！スタンプは、いろいろ使える40タイプ。ぜひ活用してください。



選挙年齢が18歳に！
意識を高める
主権者教育を実施

公職選挙法等の改正により、2016年(平成28年)6月以降、投票できる年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられました。本校では、現代社会の時間を利用して主権者教育に力を入れています。クラスで班に分かれて立候補者を募り、全員の前でパワーポイントを使いながら演説を行い、マニフェストを示します。その後、小選挙区制をモデルに生徒一人一人が各候補者の名前を書き、模擬選挙を行っています。投票箱は、八幡東区の選挙管理委員会からお借りした本物を使うなど、在学中から主権者としての意識を高める授業を行っています。



感染症対策を徹底し
2021年咲橘祭を
9月に開催



昨年度はコロナ禍のため中止となった咲橘祭。今年度は8月末からの緊急事態宣言を受け14日に延期になりました。すべて中止も考えられましたが、本番に向けて生徒がたくさん準備を行ってきたので、中止ではなく内容を一部縮小して開催することになりました。モザイクアートの発表や各文化部の展示・発表、事前に収録された個人での歌やダンス、バトントワーリングなどの発表を見ることができました。また、クラス発表に関しては、オリジナル動画を見ることができました。つつましやかな開催ではありましたが、それぞれの個性が感じられるものとなりました。来年以降は通常開催ができることを期待したいです。

スマホからも
アクセス！



公式Instagram
「九国大ふぞくん」
#959kiuh



Junior High School

ウィズコロナ時代に向けて 未来を創る人 プロジェクト

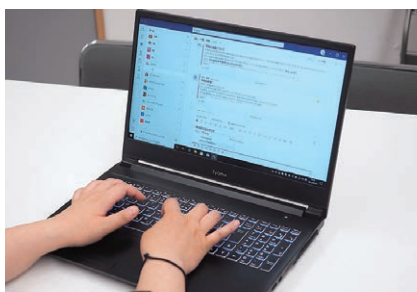
これまで取り組んできた体験学習に進路指導を絡ませ、“世の中”や“未来の自分”について考えていこうとする新たな取り組みです。中学3年間で3つのステージに分け、1年生を1st stage「世の中に触れよう、世の中について考えよう」、2年生を2nd stage「将来の世の中をどのように生きるか描いてみよう」、そして3年生をFinal stage「世の中のために自分が何ができるかを表してみよう」として考えたことを作文にまとめ発表したり、校外学習で学んだことをレポートにまとめたりします。“自分も・みんなも幸せに過ごせる世界の実現に向け、自分で考え・行動していく人”を育てていこうとする取り組みです。



ウィズコロナを見据えた ICT機器の活用

<Microsoft Teamsの活用>

課題機能を使って宿題や学習課題、提出物等をやりとりしています。また、チャット機能を使って連絡事項の伝達はもちろん、個別相談や質問なども行っています。



<授業配信・オンライン集会>

Microsoft Teamsの会議機能を使って、教室での授業の様子を配信しています。体調が悪くて自宅にいるときでも授業を受けることができます。また、大勢の人が集まることができないときは、オンライン全校集会も行っています。



朝活やっています！ ノーチャイムの 学校生活

登校時間を8:55として、1日7時間の授業を実施しています(45分×1、50分×6)。ノーチャイム制をとり入れて、生徒一人ひとりが自分から主体的に生活することができるような教育活動に取り組んでいます。1時間目は「朝活の時間」として、小テストを実施します。国語・数学・英語でローテーションを組んで実施、場合によっては放課後等の時間を使って個別指導を行っています。また、この朝活の時間は、「全校集会」や「道徳」などにも活用されています。

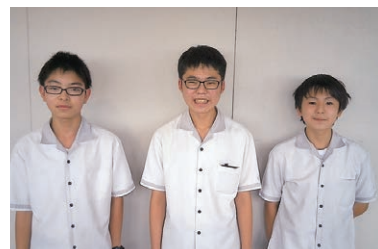


TOPICS

科学の甲子園ジュニア福岡県大会の北九州地区大会で優勝！



令和3年度科学の甲子園ジュニア福岡県大会の北九州地区大会が7月25日(日)に実施され、本校から出場した九州国際大学附属中学校2年生チーム(左から平山雅博さん、船越奏太さん、古野栄太郎さんの3名)が、見事優勝を飾りました。9月18日(土)の県大会(福岡市教育センターで実施)に出場することになり、開会式では各地区を代表として選手宣誓をすることになりました。県大会での3人の活躍を期待したいと思います。



学校法人 九州国際大学 令和2年度 決算状況

学校法人会計は、「予算制度」が採用されており、会計年度毎に作成された予算に基づき教育活動等を実施しています。これらの諸活動の結果をあらわす令和2年度の本法人の決算状況について、事業活動収支計算書をもとに説明いたします。

この事業活動収支計算書は、当該年度の収支の均衡状態を明らかにすることを目的としており、経常的な収支である「①教育活動収支」、「②教育活動外収支」及び臨時的収支である「③特別収支」の3つの区分で構成されております。「①教育活動収支」における収入は41億8,979万円、支出は37億8,567万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、4億412万円の収入超過となっております。「②教育活動外収支」における収入は481万円、支出は24万円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、457万円の収入超過となっております。「③特別収支」における収入は1,785万円、支出は231万円となり、当該区分における特別収支差額は1,554万円の収入超過となっております。これらを総じて、事業活動収入は42億1,244万円となり、事業活動支出は37億8,821万円となっております。

このように区分毎の収支を踏まえた本法人の決算は、基本金組入前当年度収支差額が4億2,423万円の収入超過となり、当年度収支差額も1億4,713万円の収入超過となっております。

なお、本法人が保有する金融資産の増減について、令和3年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券1億円含む）は30億9,897万円となり、前年度末より3億6,655万円増加しました。「退職給与引当特定資産」は、9億3,812万円で、学校法人会計基準に基づき当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。

「減価償却引当特定資産」は将来の資産更新に備え、1億円を繰入れ15億6,443万円となっております。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して4億6,174万円増加しています。

※ 単位万円以下は四捨五入して表記

事業活動収支計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) (単位: 千円)

		科目	予算	決算	差異
● 教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	2,834,253	2,838,952	△ 4,699
		手数料	74,303	72,325	1,978
		寄付金	2,780	1,337	1,443
		経常費等補助金	1,003,228	1,052,023	△ 48,795
		付随事業収入	51,759	53,330	△ 1,571
	支出の活動	雑収入	171,086	171,819	△ 733
		教育活動収入計	4,137,409	4,189,786	△ 52,377
		科目	予算	決算	差異
		人件費	2,209,041	2,201,371	7,670
		教育研究経費	1,259,534	1,220,856	38,678
● 教育活動外収支	管理経費	380,249	363,409	16,840	
	徴収不能額等	0	30	△ 30	
	教育活動支出計	3,848,824	3,785,666	63,158	
	教育活動収支差額	288,585	404,120	△ 115,535	
	科目	予算	決算	差異	
● 特別収支	受取利息・配当金	4,270	4,808	△ 538	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	4,270	4,808	△ 538	
	科目	予算	決算	差異	
	借入金等利息	237	236	1	
● 基本金組入前当年度収支差額	その他の教育活動外支出	0	0	0	
	教育活動外支出計	237	236	1	
	教育活動外収支差額	4,033	4,572	△ 539	
	経常収支差額	292,618	408,692	△ 116,074	
	科目	予算	決算	差異	
● 特別収支	資産売却差額	0	0	0	
	その他の特別収入	10,209	17,846	△ 7,637	
	特別収入計	10,209	17,846	△ 7,637	
	科目	予算	決算	差異	
	資産処分差額	0	2,308	△ 2,308	
● 特別収支	その他の特別支出	0	0	0	
	特別支出計	0	2,308	△ 2,308	
	特別収支差額	10,209	15,538	△ 5,329	
	[予備費]	10,000		10,000	
	基本金組入前当年度収支差額	292,827	424,230	△ 131,403	
● 基本金組入前当年度収支差額	基本金組入額合計	△ 290,914	△ 277,103	△ 13,811	
	当年度収支差額	1,913	147,127	△ 145,214	
	前年度繰越収支差額	△ 6,041,373	△ 6,041,373	0	
	基本金取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 6,039,460	△ 5,894,246	△ 145,214	
(参考)	事業活動収入計	4,151,888	4,212,440	△ 60,552	
	事業活動支出計	3,859,061	3,788,210	70,851	

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出にはなりません。

【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売値が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売値が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】

得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

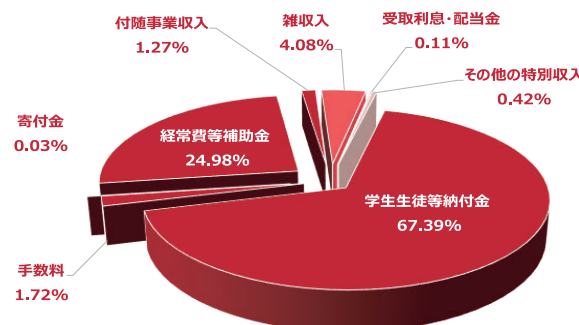
【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを継続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっております。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ通用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

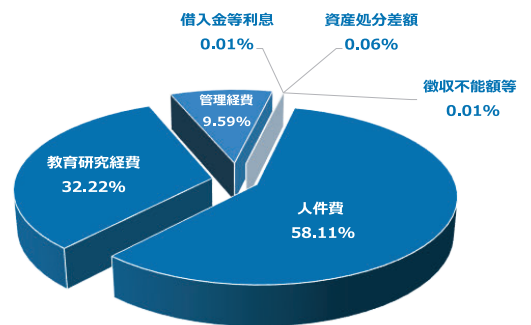
事業活動収入に対する各費目の占める割合

事業活動収入計 (4,212百万円)



事業活動支出に対する各費目の占める割合

事業活動支出計 (3,788百万円)



資金収支計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) (単位: 千円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,834,253	2,838,952	△ 4,699
手数料収入	74,303	72,325	1,978
寄付金収入	12,989	11,926	1,063
補助金収入	1,003,228	1,052,023	△ 48,795
資産売却収入	100,000	100,000	0
付随事業・収益事業収入	51,759	53,329	△ 1,570
受取利息・配当金収入	4,270	4,808	△ 538
雑収入	170,942	171,675	△ 733
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	411,120	433,031	△ 21,911
その他の収入	229,219	241,901	△ 12,682
資金収入調整勘定	△ 584,536	△ 600,543	16,007
前年度繰越支払資金	2,532,415	2,532,415	0
収入の部合計	6,839,962	6,911,842	△ 71,880
支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,213,726	2,206,057	7,669
教育研究経費支出	985,055	946,691	38,364
管理経費支出	341,341	324,443	16,898
借入金等利息支出	237	236	1
借入金等返済支出	27,770	27,770	0
施設関係支出	195,104	194,499	605
設備関係支出	68,040	64,582	3,458
資産運用支出	100,000	100,001	△ 1
その他の支出	31,589	86,700	△ 55,111
[予備費]	10,000		10,000
資金支出調整勘定	△ 24,136	△ 38,104	13,968
次年度繰越支払資金	2,891,236	2,998,967	△ 107,731
支出の部合計	6,839,962	6,911,842	△ 71,880

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

貸付金の回収額。特定の目的のために積立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整するもの。

【語句説明】 資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます(新入生の入学金・授業料等)。

【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】 資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、国または地方公共団体等から補助を受けています。これら補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより、「学校法人会計基準(昭和46年文部省令制定)」という会計ルールに従い計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。このように、公共性・安定性・継続性が求められる私立学校においては、中長期的にわたって永続的な維持を可能にするために収支均衡を図るべく、適正な会計処理を行うための統一した学校法人会計基準が定められています。

企業会計と学校法人会計の違い

教育・研究活動を事業目的とする学校法人会計は、学校法人の永続的な発展と教育研究活動の円滑な遂行のために、「教育水準の維持向上」、「収支均衡」、「予算主義」という3つの概念に基づき運営され、収支の均衡と財政の状態を正しく捉えることを目的としています。一方、営利の追求を事業目的としている企業会計の考え方は、損益が重視され、収益と費用を正しく捉え、営業年度の正しい損益を計算し、企業の財政状態を知ることによって、より収益性を図ることを目的としています。このように、一般企業は利益を得る目的で存在していますが、学校法人は教育研究活動を目的とした非営利法人です。法人の存在理由が異なるため、会計の目的が異なっています。

計算書類について

(1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって収入と支出の内容を明らかにし、当該年度の支払資金(現金及び預貯金)の期末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度(様式)ではないため、予算書の作成は求められていません。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。計算書の構造は、本業である教育・研究活動(教育活動収支)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

(3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

活動区分資金収支計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) (単位: 千円)

科目	金額
学生生徒等納付金収入	2,838,952
手数料収入	72,325
特別寄付金収入	1,200
経常費等補助金収入	1,052,023
付随事業収入	53,330
雑収入	171,675
教育活動資金収入計	4,189,505
人件費支出	2,206,057
教育研究経費支出	946,691
管理経費支出	324,443
教育活動資金支出計	3,477,191
差引	712,314
調整勘定等	43,602
教育活動資金収支差額	755,916
科目	金額
施設設備寄付金収入	10,726
施設整備等活動資金収入計	10,726
施設関係支出	194,499
設備関係支出	64,582
減価償却引当特定資産繰入支出	100,000
施設整備等活動資金支出計	359,081
差引	△ 348,355
調整勘定等	10,034
施設整備等活動資金収支差額	△ 338,321
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	417,595
科目	金額
有価証券売却収入	100,000
退職給与引当特定資産取崩収入	4,816
修学・研修旅行費預り資産取崩収入	12,834
貸付金回収収入	50
仮払金回収収入	1,126
敷金回収収入	8,427
小計	127,253
受取利息・配当金収入	4,808
その他の活動資金収入計	132,061
借入金等返済支出	27,770
退職給与引当特定資産繰入支出	1
預り金支払支出	42,064
修学・研修旅行費預り金支払支出	13,038
小計	82,873
借入金等利息支出	236
その他の活動資金支出計	83,109
差引	48,952
調整勘定等	6
その他の活動資金収支差額	48,958
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	466,553
前年度繰越支払資金	2,532,415
翌年度繰越支払資金	2,998,968

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：千円)

	資産の部			負債の部				
	科目	R2	R1	増減	科目	R2	R1	増減
	固定資産	16,485,139	16,547,658	△ 62,519	固定負債	938,118	942,947	△ 4,829
● 有形固定資産	13,844,331	13,887,635	△ 43,304	● 退職給与引当金	938,118	942,947	△ 4,829	
● 土地	5,270,389	5,270,389	0	● 流動負債	679,170	789,485	△ 110,315	
● 建物	5,766,883	5,828,047	△ 61,164	● 短期借入金	0	27,770	△ 27,770	
● 構築物	494,861	483,336	11,525	● 短期未払金	34,538	31,125	3,413	
● 教育研究用機器備品	424,477	426,623	△ 2,146	● 前受金	433,031	463,887	△ 30,856	
● 管理用機器備品	30,639	28,968	1,671	● 修学・研修旅行費預り金	81,181	94,219	△ 13,038	
● 図書	1,852,170	1,842,485	9,685	● 預り金	130,420	172,484	△ 42,064	
● 車両	4,912	6,467	△ 1,555	● 負債の部合計	1,617,288	1,732,432	△ 115,144	
● 建設仮勘定	0	1,320	△ 1,320	● 純資産の部				
● 特定資産	2,502,551	2,407,366	95,185	● 科目	R2	R1	増減	
● 退職給与引当特定資産	938,118	942,933	△ 4,815	● 基本金	23,980,256	23,703,153	277,103	
● 減価償却引当特定資産	1,564,433	1,464,433	100,000	● 第1号基本金	23,709,256	23,432,153	277,103	
● その他の固定資産	138,257	252,657	△ 114,400	● 第4号基本金	271,000	271,000	0	
● 電話加入権	3,202	3,202	0	● 繰越収支差額	△ 5,894,246	△ 6,041,373	147,127	
● 敷金	240	14,640	△ 14,400	● 翌年度繰越収支差額	△ 5,894,246	△ 6,041,373	147,127	
● 有価証券	100,000	200,000	△ 100,000	● 純資産の部合計	18,086,010	17,661,780	424,230	
● 預託金	34,815	34,815	0	● 負債及び純資産の部合計	19,703,298	19,394,212	309,086	
● 流動資産	3,218,159	2,846,554	371,605					
● 現金預金	2,998,967	2,532,415	466,552					
● 未収入金	136,659	214,680	△ 78,021					
● 貯蔵品	237	60	177					
● 短期貸付金	0	50	△ 50					
● 修学・研修旅行費預り資産	81,007	93,841	△ 12,834					
● 前払金	1,087	4,180	△ 3,093					
● 仮払金	202	1,328	△ 1,126					
● 資産の部合計	19,703,298	19,394,212	309,086					

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【○○○引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

【有価証券】

国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的（短期的）な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。

【現金預金】

現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。

【借入金】

長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。

【預り金】

給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【繰越収支差額】

当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。

事業活動収支計算書（経年比較）

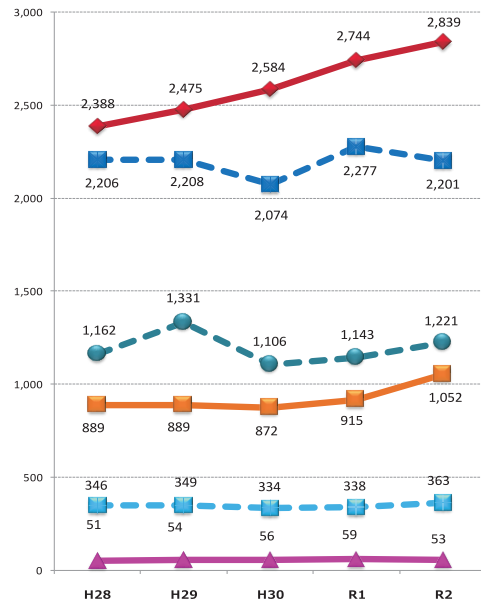
	科目						
	H28	H29	H30	R1	R2		
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,387,782	2,474,530	2,584,270	2,743,698	2,838,953	
	手数料	77,151	72,943	74,008	76,140	72,325	
	寄付金	10,000	7,500	6,198	4,392	1,337	
	經常費等補助金	888,721	888,791	872,288	915,401	1,052,023	
	付随事業収入	51,395	53,862	56,164	58,895	53,329	
	雑収入	135,956	181,127	88,502	306,912	171,819	
	● 教育活動収入計	3,551,005	3,678,753	3,681,430	4,105,438	4,189,786	
	教育活動支出	人件費	2,205,963	2,207,682	2,073,661	2,277,324	2,201,371
		教育研究経費	1,162,243	1,331,086	1,105,571	1,143,457	1,220,856
		管理経費	345,409	349,271	334,039	338,376	363,409
徴収不能額等		0	650	1,431	118	30	
● 教育活動支出計		3,713,615	3,888,689	3,514,702	3,759,275	3,785,666	
● 教育活動収支差額	△ 162,610	△ 209,936	166,728	346,163	404,120		
教育活動外収入	受取利息・配当金	6,464	4,472	4,381	4,909	4,807	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	
	● 教育活動外収入計	6,464	4,472	4,381	4,909	4,807	
	借入金等利息	7,568	6,234	4,933	1,000	236	
	● 教育活動外支出計	7,568	6,234	4,933	1,000	236	
● 教育活動外収支差額	△ 1,104	△ 1,762	△ 552	3,909	4,571		
● 經常収支差額	△ 163,714	△ 211,698	166,176	350,072	408,691		
特別収入	資産売却差額	0	0	0	0	0	
	その他の特別収入	55,583	28,886	46,172	24,789	17,846	
	● 特別収入計	55,583	28,886	46,172	24,789	17,846	
	資産処分差額	7,308	9,150	4,480	47,340	2,308	
	● 特別支出計	7,308	9,150	5,114	47,986	2,308	
● 特別収支差額	48,275	19,736	41,058	△ 23,197	15,538		
● 基本金組入前当年度収支差額	△ 115,439	△ 191,962	207,234	326,875	424,229		
● 基本金組入額合計	△ 133,575	△ 200,665	△ 726,566	0	△ 277,103		
● 当年度収支差額	△ 249,014	△ 392,627	△ 519,332	326,875	147,126		
● 前年度繰越収支差額	△ 5,542,607	△ 5,664,961	△ 6,057,132	△ 6,576,464	△ 6,041,373		
● 基本金取崩額	126,660	456	0	208,215	0		
● 翌年度繰越収支差額	△ 5,664,961	△ 6,057,132	△ 6,576,464	△ 6,041,374	△ 5,894,247		

(参考)

事業活動収入計	3,614,122	3,712,111	3,731,983	4,135,136	4,212,439
事業活動支出計	3,730,059	3,904,073	3,524,749	3,808,261	3,788,210

事業活動収支の主な科目の推移

(単位：百万円)



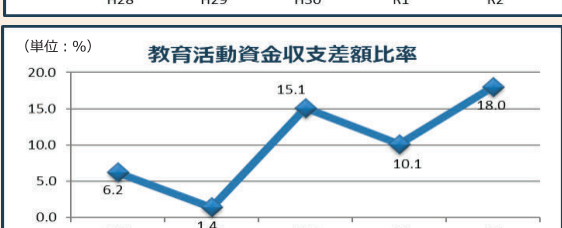
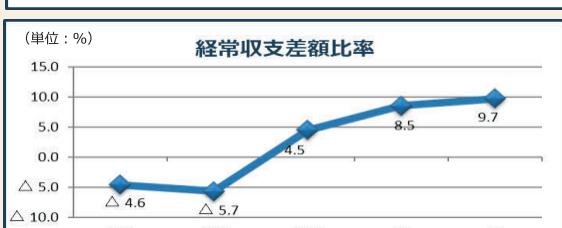
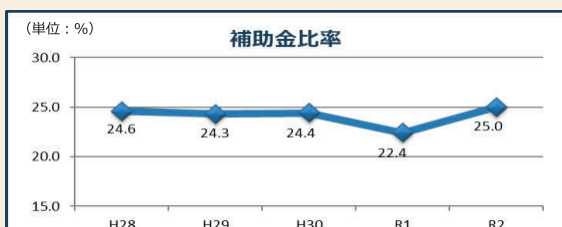
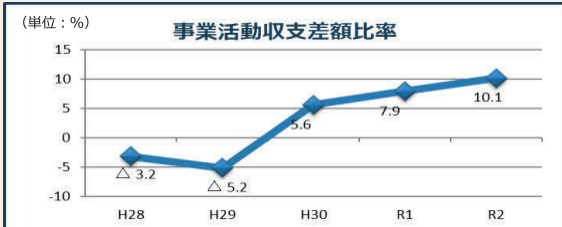
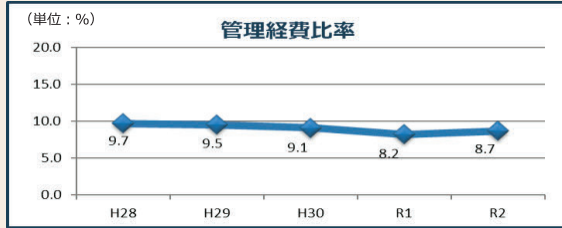
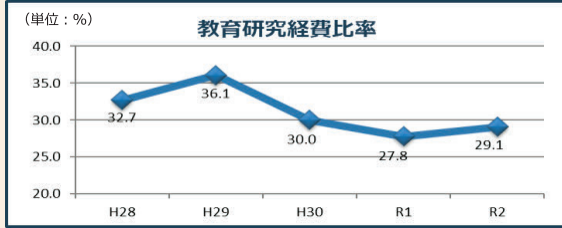
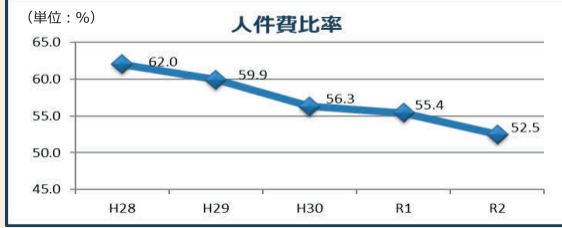
実線(一)は、収入科目、破線(--)は、支出科目です。

貸借対照表関係財務比率

No.	比率	算式	H28	H29	H30	R1	R2	評価
1	固定資産構成比率	固定資産 / 総資産	85.2%	85.7%	87.2%	85.3%	83.7%	▼
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産 / 総資産	71.8%	72.1%	73.4%	71.6%	70.3%	▼
3	特定資産構成比率	特定資産 / 総資産	12.1%	12.3%	12.5%	12.4%	12.7%	△
4	流動資産構成比率	流動資産 / 総資産	14.8%	14.3%	12.8%	14.7%	16.3%	△
5	固定負債構成比率	固定負債 / 総負債+純資産	8.3%	5.5%	5.2%	4.9%	4.8%	▼
6	流動負債構成比率	流動負債 / 総負債+純資産	4.0%	6.6%	4.1%	4.1%	3.5%	▼
7	内部留保資産比率	運用資産-総負債 / 総資産	14.6%	14.6%	16.3%	17.6%	20.2%	△
8	運用資産余裕比率	運用資産-外部負債 / 純資産	121.4%	114.8%	136.1%	135.1%	147.0%	△
9	純資産構成比率	純資産 / 総負債+純資産	87.7%	88.8%	90.6%	91.1%	91.7%	△
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 / 総負債+純資産	△ 28.7%	△ 31.1%	△ 34.4%	△ 31.2%	△ 30.9%	△
11	固定比率	固定資産 / 純資産	97.1%	97.4%	96.2%	93.7%	91.9%	▼
12	固定長期適合率	固定資産 / 純資産+固定負債	88.7%	91.7%	90.9%	88.9%	87.3%	▼
13	流動比率	流動資産 / 流動負債	373.4%	218.6%	309.8%	360.6%	473.8%	△
14	総負債比率	総負債 / 総資産	12.3%	12.0%	9.4%	8.9%	8.2%	▼
15	負債比率	総負債 / 純資産	14.0%	13.7%	10.3%	9.8%	9.0%	▼
16	前受金保有率	現金預金 / 前受金	598.9%	559.0%	490.0%	545.9%	692.6%	△
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産 / 退職給与引当金	99.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	△
18	基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	97.2%	97.7%	99.7%	99.9%	100.0%	△
19	減価償却比率	減価償却累計額(図書を除く) / 減価償却資産取得価額(図書を除く)	56.4%	57.6%	58.3%	58.5%	59.5%	—
20	積立率	運用資産 / 要積立額	52.3%	49.7%	46.1%	48.9%	51.9%	△

事業活動収支計算書関係比率

No.	比率	算式	H28	H29	H30	R1	R2	評価
1	人件費比率	人件費 / 経常収入	62.0%	59.9%	56.3%	55.4%	52.5%	▼
2	人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	92.4%	89.2%	80.2%	83.0%	77.5%	▼
3	教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	32.7%	36.1%	30.0%	27.8%	29.1%	△
4	管理経費比率	管理経費 / 経常収入	9.7%	9.5%	9.1%	8.2%	8.7%	▼
5	借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	▼
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	△ 3.2%	△ 5.2%	5.6%	7.9%	10.1%	△
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出 / 事業活動収入-基本金組入額	107.2%	111.2%	117.3%	92.1%	84.4%	▼
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	67.1%	67.2%	70.1%	66.8%	67.7%	—
9	寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	1.8%	0.6%	0.4%	0.5%	0.5%	△
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	△
10	補助金比率	補助金 / 事業活動収入	24.6%	24.3%	24.4%	22.4%	25.0%	△
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 / 経常収入	25.0%	24.1%	23.7%	22.3%	25.1%	△
11	基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	3.7%	5.4%	19.5%	0.0%	6.6%	△
12	減価償却比率	減価償却額 / 経常支出	7.8%	7.2%	7.8%	7.9%	8.1%	—
13	経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	△ 4.6%	△ 5.7%	4.5%	8.5%	9.7%	△
14	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 / 教育活動収入計	△ 4.6%	△ 5.7%	4.5%	8.4%	9.6%	△



(注) 財務比率の評価等について

財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえません。財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

【△: 高い値が良い ▼: 低い値が良い —: どちらともいえない】

(注) 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- ① 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 (固定資産) + 有価証券 (流動資産) + 現金預金
- ② 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務
- ③ 要積立額 = 減価償却累計額 + 退職給与引当金 + 第2号基本金 + 第3号基本金

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率	算式	H28	H29	H30	R1	R2	評価
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計	6.2%	1.4%	15.1%	10.1%	18.0%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

学校法人九州国際大学

- 大学 法学部 / 法律学科 現代ビジネス学部 / 地域経済学科・国際社会科学科
- 大学院 法学研究科
- 附属高等学校 難関クラス / S特進クラス / 特進クラス / トップアスリートクラス
- 附属中学校

University



写真は、万全のコロナ対策のもと8月に行われたオープンキャンパス

事前申込必要

第4回 オープンキャンパス ズバリ解説！入試直前

『学校推薦型選抜・総合型選抜のポイント』

令和3年10月2日(土) 13:30~15:00

受付開始 / 13:00から

学校推薦型選抜&総合型選抜のポイントを解説！

- ガイダンス (学部説明、コース特色紹介) 在学生によるキャンパスツアー
- 個別相談: 学部説明、入試説明会 など

第5回 オープンキャンパス 九国大・学びへの扉

令和4年3月12日(土) 13:30~15:00

受付開始 / 13:00から

九国大の取り組みをわかりやすく説明！

- 教育の取り組みを紹介 ガイダンス (学部説明、コース特色紹介)
- 在学生によるキャンパスツアー 個別相談: 学部説明、入試説明会 など

オープンキャンパスの詳細はホームページにてご確認ください。

お申込みは / TEL. 093-671-8916

FAX. 093-671-8995

Email. admission@kiu.ac.jp



High School



入試ワンポイントアドバイスも実施！

オープンスクール

令和3年10月16日(土) [文系編(国・社・英)]

令和3年11月6日(土) [理系編(数・理・英)]

10:00~12:30

(12:30以降のプログラムは自由参加)

学校説明&保護者ガイダンス

クラブ見学 / 入試過去問題配布 など

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:30から 20分毎に運行

放課後のオープンスクール

令和3年11月12日(金) 18:30~20:00

学校見学&クラブ活動見学 など

新型コロナウイルスの影響により、変更の可能性があります。前日に必ずホームページをご確認ください。



お申込みは / TEL. 093-671-8443

FAX. 093-671-9028

Email. 959h@kif.ed.jp

Junior High School



小学6年生および保護者対象

九国プレ2021 学校・入試説明会

令和3年10月24日(日) 9:10~11:40

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:05、8:20、8:40

授業を見てみよう！

秋の学校見学ツアー (小学6年対象)

令和3年11月13日(土) 9:20~12:00

冬の学校見学ツアー (小学5年対象)

令和3年12月4日(土) 9:20~12:00

新型コロナウイルスの影響により、変更の可能性があります。前日に必ずホームページをご確認ください。



お申込みは / TEL. 093-671-9001

FAX. 093-671-8998

Email. 959j@kif.ed.jp



学園広報誌 九国の扉 ~キエトビ~
 vol.19 / 2021

発行日 / 2021年9月30日

発行 学校法人九州国際大学

学園広報誌作成委員会

〒805-8513 北九州市八幡東区平野2-5-1
 TEL. 093-671-8900 FAX. 093-671-9032